

の森、めい想の森と合わせて人道の森としたらどうかとのご提案をいただきました。このことにつきましては、現在、めい想の森から人道の丘が望む場所を5年間かけて(株)JTBによる桜の植樹事業を行ってきました。



Q2 やおつトンネルについて

開通の取組は?

問 やおつトンネルの開通に伴う新たな観光事業の取り組みについて伺う。また、御嵩町方面への利便性が向上したことにより、人口の流出を懸念している。町として人口流出の対策は考えているか伺う。

答 (藤本産業課長)

八百津トンネル開通に伴う新たな観光事業についてですが、現在、当町と御嵩町において、両町のキャラクター「やおつち」と「ミーモくん」が入った双方の観光施設への誘導看板の設置を進めているところです。先般、

ファミリーセンターで「インフラツーリズム」をメインテーマとした「丸山ダム完成60周年記念シンポジウム」が開催され、全国各地から多くの参加者が集まり、ダム人気の勢いを感じました。この事業には当町と御嵩町も実行委員会として関わってきました。やがて消えゆく丸山ダムと新しく誕生する新丸山ダム、そして両町の観光施設をセ

ットにしたプランは、東海環状自動車道から八百津トンネルを使つた観光ルートのひとつとして、弾みがかかると思います。

また、トンネル開通により、美濃加茂市方面から来た観光客が

当町を観光し御嵩町へ向かうという「周遊観光」が可能となりました。

10月にデビューしたラッピングタクシーでは、すでに美濃加茂市、可児市、御嵩町との周遊観光を見据え、前面に押し出したP.R.をはじめています。さら

に、今後は再生可能エネルギー都市「八百津町」と環境モデルの町「八百津町」が連携して、全国へPRしていく取り組みも考えられます。今後も、アイデアを出ししながら、各市町、関係機関と連携し、観光事業を進めていきたいと考えています。

次に、当町としての人口対策についてのご質問につきましては、まず、自然いっぽいの中で充実した保育、教育が受けられる、子育てに最適な保育園を当町の玄関付近に配置するなど、トンネル開通による利便性を前面に押し出しながら、町外の方

が振り向くような魅力的な整備を図り、空き家バンク制度をはじめとする移住定住施策を進めたいと考えています。

Q1 保育園の給食における主食の提供について

主食の提供は?

問 現在、八百津町の保育園の給食においては、3才未満児には主食・副食が提供される完全給食であるのに対し、3才～5才児には副食のみの提供であり、主食（白米）は家庭から持参している。このことは、

加茂管内では八百津町のみで行われていて、他市町村では保護者から主食費を徴収する形で、保育園において主食を提供している。夏は衛生面から心配であり、冬は冷めたご飯を食べるこ

ととなり、子ども達にとつていかがなものかと考える。子育て支援を旗印に掲げる八百津町として、保育園での主食の提供を保護者の負担の無い形で初めて実現するなど、トンネル開通による利便性を前面に押し出しながら、町外の方はどうか。執行部の考え方を伺う。

答 (市岡健康福祉課長)

この件につきましては、平成23年6月議会でも同様のご質問をいたしています。当時、保護者に意向調査を実施した結果により対応を検討したいとお答えしていましたが、保護者からは白飯持参の意向が多数を占めましたことなどから、主食持参で現在に至っています。

点から良好な親子関係の維持や、子どもの健康状態の把握が可能となることなどがあります。保護者の愛情あふれる環境で子育てすることの意義は大きいと言えます。一方、欠点としては、ご指摘のとおり夏場の衛生面の確保の困難さや冬場の冷めた食感の悪さは否めません。今後、保護者の就労の増加等により益々生活様式の変化もありますことから再度調査し、保護者の意向を充分尊重しながら検討してまいりたいと思います。議員ご指摘のとおり管内各保育園では完全給食を実施し相当分の給食費を徴収しています。また、七宗町や白川町では給食センターで調理をしています。子育て支援を重点施策に掲げる当町といたしましては、現在は錦津保育園整備に精力を傾注いたしていますが、子どもの健やかな成長と安全安心な保育園運営を目指して、完全給食と給食費の保護者負担についても検討してまいりたいと考えています。

Q2 高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定について

核の「ゴミ」の対応は?

問 国は高レベル放射性廃棄物（以下核のゴミ）の最終処